

人工透析室

1. スタッフ構成

- 山師 定(腎糖尿病センター長、臨床工学部長)
- 岡本 賢二郎(医局長、腎糖尿病センター副センター長)
- 村上 太一(腎臓内科主任部長、腎糖尿病センター副センター長)
- <泌尿器科医師>
- 二宮 郁(泌尿器科主任部長、人工透析室長、ネットワーク運用管理室長)
- 松村 正文(泌尿器科部長)
- 柳原 豊(泌尿器科部長)
- 瀬戸 太介(泌尿器科医長)
- 市原 興基(泌尿器科医長)
- 角陸 文哉(泌尿器科医師)
- 毛利 晨佑(専攻医)
- 信森 祥太(専攻医)
- <腎臓内科医師>
- 谷村 智史(腎臓内科医長)
- 西脇 麻里子(腎臓内科医長)
- 高橋 謙作(腎臓内科医長)
- <メディカルスタッフ>
- 樋野 洋一郎(看護長)
- 看護師:16名
- 看護補助者:1名
- 臨床工学技士:14名

2. 認定資格取得

資格名	資格取得者
日本透析医学会透析専門医	山師定、岡本賢二郎、村上太一、柳原豊、市原興基

3. 運営方針

- (1) 腎不全医療における SDM を推進することで患者中心の医療を目指します。
- (2) 安全な腎不全治療を提供できる医療体制の確立を目指します。
- (3) 健全な経営への取り組みを行います。
- (4) 震災等の災害時に対する緊急時の体制整備を進めます。

4. 実績

人工透析室は透析ベッド 45 台を有し、医師・看護師・臨床工学技士が協働し、運営しています。

中予地区の基幹病院であるため、新規導入患者数が多いことに

加え、近隣の病院で合併症余病を併発した患者さんやシャントトラブルの紹介も多く、他院に比して重篤な患者さんを抱える病院となっています。血液浄化法は血液透析のみでなく、血液濾過、血漿交換、免疫吸着等、各種血液浄化法に対応しています。2013 年 11 月からは on-line HDF を導入し、安定した維持透析を行っています。腹膜透析外来も担当しております。

慢性腎不全(CKD)患者の保存期管理においては、腎臓病教室の企画やパンフレット指導に力を入れ、腎代替療法のオプション提示や自己管理の強化につなげています。また看護師・医師が協働し、SDM の考えに基づき、腎代替療法選択における意思決定支援を行っています。さらに、総合的な腎不全医療の一環として、泌尿器科スタッフを中心に腎移植の推進、術後管理を協力し行っています。臨床工学技士は、透析室以外(ICU、HCU 等)でも多臓器不全症例における急性血液浄化法(持続血液濾過:CHDF 等)管理を中心的に担っています。

今後は、震災等の災害時緊急体制を確立し、県内のみならず近隣県との医療連携も整備する必要があると考えています。

■ 透析室患者数

	2018	2019	2020	2021	2022
年間透析回数	16,560	15,793	14,338	13,318	13,861
HD 新規導入	105	93	89	88	97
CAPD 新規導入	7	13	9	5	2
血漿交換:PE、DFPP	43	87	79	99	84
血漿/免疫吸着	4	7	3	0	12
白血球/顆粒球吸着	4	30	9	18	15
腹水濃縮	14	7	5	1	2
末梢血幹細胞採取	19	19	20	15	16

5. 2023 年度目標

腎代替療法の選択において適切なオプション提示ができ、導入期、維持期透析いずれにおいても、良質な腎不全医療を提供します。そのためにチーム医療を推進し、腎代替療法専門指導士など人材育成を進めていきます。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 宗宮快、山川真季、安宅祐一朗、喜多秀仁、中西茂雄、柳原豊、二宮郁、岡本賢二郎、山師定、菅政治。当院における自己血管内シャント手術の治療成績について。第 109 回日本泌尿器科学会四国地方会。松山・Web 開催 (2022.2.5)
2. 二宮郁、毛利晨佑、宗宮快、瀬戸太介、安宅祐一朗、中西茂雄、柳原豊、岡本賢二郎、山師定、菅政治。腎代替療法 web セミナー 腎移植について。腎代替療法 WEB セミナー。Web 開催 (2022.6.2)
3. 宗宮快、毛利晨佑、安宅祐一朗、瀬戸太介、中西茂雄、柳原豊、二宮郁、岡本賢二郎、山師定、菅政治。当院における自己血管内シャント手術の治療成績について(作成部位の比較検討)。第 67 回日本透析医学会学術集会・総会。横浜 (2022.7.1-3)
4. 二宮郁、毛利晨佑、宗宮快、瀬戸太介、安宅祐一朗、中西茂雄、柳原豊、

岡本賢二郎、山師定、菅政治. マージナルドナーの術後腎機能の検討.
第 67 回日本透析医学会学術集会・総会. 横浜 (2022.7.1-3)

5. 兵頭和枝. 当院における腎代替療法への取り組み～多職種によるシームレスな関わりを目指して～. 腎代替療法多職種セミナー. 松山 (2022.9.7)
6. 村上太一、西脇麻里子、谷村智史、垣尾勇樹. 抗 PD-L1 抗体デュルバルマブ投与中に Goodpasture 症候群を発症した一例. 第 52 回日本腎臓学会西部学術大会. 熊本・Web 開催 (2022.11.18-19)